



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1543回 例会 2023.10.6(金)晴

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 岡良森君



ようやく夏が終わったという感じですね。この夏さすがに痩せました。久しぶりに6キロ以上痩せて体が軽くなりました。これから食欲の秋ですので痩せた分を美味しい食事で取り戻そうと思っています。

本日のプログラムはクラブ協議会です、後程再度登壇しますので会長挨拶は軽めにしたいと思います。今週の月曜日、第一グループ米山ガバナー補佐主催のゴルフコンペがありました。各クラブから会長幹事ゴルフ愛好者など40名程の参加者で行われ懇親を深めることができました。ガバナー、地区幹事も参加され、ゴルフ後の懇親会にはプレーをしなかった下田RC会長も参加され賑やかに和やかに実施されました。ガバナー補佐・事務局の皆さんお疲れ様でした。

先週は、TEAM USAバレーチームのエキシビジョンマッチマツチを東レ体育館で、応援を兼ねて観覧してきました。コートサイドから迫力のあるプレーを観ることができました。現在予選リーグアメリカはトップ、日本は上位ながら微妙な位置にいます。パリオりの出場が掛かっておりますので日本をお応援しましょう。

締めですが、今回取り上げる「乗り鉄」ネタは「東北エモーション」です。これは、JR東日本が所有する車両です。この列車のコンセプトは、「列車全体がレストラン空間」ということです。7年程前に乗車してきました。八戸から久慈までの間、行きはフルコースランチ、一時間ほど久慈で滞在して帰りは、ヒュッフェタイムで戻りました。片道2時間程の行程で、ランチタイム中飲み放題があるのでお得感満載です。八戸から太平洋側に列車が差し掛かったところで、地元の人々のサプライズ演出に出会うことができます。当時流行りの「じぇいじぇい」な気分を体験することができました。予算は往復で2万円程度、個室タイプも用意されています。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/34	82.40%	28/34	82.40%
今回	32/37	86.50%	会員総数	38名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

土屋(巧)君、中山君、三輪君、矢岸君、吉村君

(*出席免除会員の欠席者 遠藤君)



おめでとう

入会記念日 10月7日 杉橋 聡君



クラブ協議会

会長 岡良森君

本日の卓話は、クラブ協議会です。

通常、その年度の各種案件につきましては、理事会で協議するわけですが、案件そのものが特に重要である場合、または、案件そのものが数年以上に関わるものについては、クラブ協議会で討議することとなっております。そうした観点から活発なご意見を頂戴できれば幸いです。

私から一番目に協議提案したい案件は、青少年育成奉仕委員会の活動としての「インターアクト」の導入についてであります。

未来3035をはじめ当クラブでは、青少年育成活動に力を入れてきたわけですが、その成果として、当クラブに同委員会が今年度よりスタートしました。そこで、委員会自体の目標の一つとして、インターアクトを導入したく思慮しております。35周年でもあり、地区からの要請もある中、県立田方農業高校は、ボランティア活動に積極的であり、我々のパートナーとして適していると考えております。配布した資料は同校が取り組んでいる活動概要です。当クラブからみたインターアクトの活動とは、一年を通じたサポートと同行学生の活動報告や、当地区で行っているポリオ関連の活動参加が当面の活動と考えております。詳細等今後先方含めて協議していかなければならないこともありますが、地区の支援も受けて進めていきたいと思っております。皆さん、ご討議の程よろしくお願ひいたします。

次に、協議提案したい案件は、細則の改定であります。青少年育成奉仕委員会が発足したことに関連し、理事会メンバーの増員を行いたいと考えます。同委員会は、今後当クラブ内におきまして重要な活動が期待されております。従来、青少年育成奉仕活動は、社会奉仕委員会の中で位置づけられておりましたが、独立した委員会として活動するわけですから、理事会メンバーとして委員長を加えたいと思っております。細則等の文言・表現方法につきましては、クラブ内細則検討委員会でご進めていきたいと思っております。

委員会報告

35周年実行委員長 山口辰哉君

皆さんご承知の通り、今年度当クラブは創立35周年を迎えます。

1989年6月に三島西ロータリークラブをスポンサークラブとして、故秋津三郎さまを特別代表に30名のチャーターメンバーでスタートしました。

来年4月13日に記念事業として「地球のステージ」を三島市民文化会館大ホールで開催予定です。神奈川県海老名市を拠点に活動している認定NPO法人「地球のステージ」は、世界の5カ国で長期的な保健医療・心のケア活動・教育支援を展開、日本国内でも災害復興支援を行っています。

まずは、この事業で三島市及び長泉・函南・清水町の子どもたち及びその親御さんたちを無料招待し大ホールをいっぱいにしたいということが一つ、もうひとつは5月17日にみしまプラザホテルで記念式典を行います。

皆さんのご協力を期待しております。

クラブ協議会議事録

司会:篠木幹事

1. 会長挨拶(岡会長)

2. 青少年育成奉仕委員会(岡会長)

インターアクトの導入について

未来3035をはじめ当クラブでは青少年育成に力を入れてきた経緯がある。今年度はクラブ創設35周年でもあり、地区からの要請もあることから、インターアクトを導入したいと考えている。添付資料のとおり、田方農業高校で検討したい。

→ 一同賛成

3. クラブ細則等改定について(岡会長)

昨期までの未来3035委員会を発展的に解消し、青少年育成奉仕委員会を設立した。来期は、上記のとおりインターアクトを導入、青少年育成奉仕委員会の事業としたいと計画している。ついては、青少年育成奉仕委員長を理事または役員として、クラブ細則等の変更を検討したい。

→ 中村 細則委員会でもう少し時間を掛けて検討して欲しい。近隣他クラブの例も参考にすべき。委員会を増やす(委員長を増やす)のかまとめるのかも含めて検討が必要だと思ふ。

→ 岡 細則委員会をはじめ、幅広い意見を募り、春の総会で案を提示したい。

→ 一同賛成

4. 35周年記念事業実行委員会(山口委員長)

35周年記念事業の案(添付資料)、委員会組織図案(添付資料)について説明

5. その他

◎ 三島在住ウクライナ関連(岡会長)

三島市に避難している方が4名いる。クラブとして支援したいと思うので、例会にお呼びしたい。

◎ カンボジア訪問準備状況報告(大村国際奉仕委員長)

現在クラブより9名参加、三島クラブより山岡氏、地区より望月氏が参加予定。参加者には詳細が決まり次第案内する。

◎ オノマトペ

三島市在住外国人が1400人程度いる。言葉が通じず、苦勞している方も多し。その支援として日本語表を作成しているので、その紹介をしたい。クラブの例会にも呼びたいと考えている。

委員会報告

国際奉仕委員長 大村典央君

本年度国際奉仕事業のカンボジア井戸贈呈式のスケジュールについて進捗をご報告いたします。

令和5年11月16日から20日の旅程はほぼ決まりました。

現在どのフライトで行くか最終調整しているところです。

式典は17日10時からで、地区から静岡RCの望月さんが同行します。

また、田井名誉領事もご参列くださいます。

全行程が決まりましたら改めてご報告させていただきます。

よろしくお願ひします。

10月度理事役員会

令和5年10月6日(金)19時30分～19時45分 呉竹
岡会長、仲原副会長、篠木幹事 小林パスト会長、
田村、大村、鈴木、藤川、大庭、原、伊丹
山口35周年実行委員長

1. 会長挨拶(岡会長)
2. 地区大会について(岡会長)
地区から活動発表要請あり
岡会長・・・時間が無い中での要請でありできることも限られている。
小林パスト会長・・・ガバナー補佐輩出クラブでもあるので前向きに検討して欲しい
仲原副会長・・・当クラブの過去の活動が評価されてのものであるので、前向きに検討して欲しい。
岡会長・・・皆さんの意見を踏まえたうえで発表内容を検討したい。会長一任していただきたい。
→ 一同会長一任
3. ポリオ関連について(社会奉仕委員会)
10月21日(土)13時～@イーヨーカドーで募金活動を行う。今年は当クラブが幹事のため、多くのメンバーのご協力をお願いする。
4. 35周年関連について(山口実行委員長)
記念事業(案)、組織図(案)を基に説明
5. 各委員長より
親睦活動委員長・・・クラブのジャンパーを21日のポリオワクチン募金活動に間に合うように制作している。支出については今後協議したい。
プログラム委員長・・・11月第3例会について、カンボジアの国際奉仕事業と重なっている。休会としたいがどうか？
→ 一同異議なし
クラブ奉仕委員会・・・ロータリークラブカードを作成し、人頭負担金等の支払いとしたい。地区からの要請でもある。
→ 一同異議なし
6. 閉会



スマイルボックス

杉山寿美子君:せせらぎ三島ジャンパーご注文有難うございます。皆様は袖を通して頂けます事を楽しみにしております。感謝です。

野村諒子君:涼しくなってきました。10月21日、13時よりポリオワクチン寄付キャンペーン事業を行います。皆さん参加して下さい。ヨーカ堂入口でお客さんに寄付のお願いをします。ジャンパーを着て来て下さい。詳細は又ご連絡します。

大川泰君:いよいよ今月27日・28日・29日日本商工会議所関東ブロック大会が三島で開催されます。4000人規模の事業、そしてYEG卒業最後の事業です。何かとご迷惑をお掛けする事があるかもしれませんが宜しくお願い致します。

米山晴敏君:良いジャンパーが出来ましたね。スマイルします。

加藤正幸君:パッケージプラザカウでは10/7(土)まで秋のビッグセールをやっています。今回大判チラシになっています。ご利用お待ちしております。三島バルも明日までやっています。三島の街の賑わい応援しましょう。

片野誠一君:休みが多くてすみません。

ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

2023-24年度会長 ゴードン R. マッキナリー

10月10日は世界保健機関(WHO)が定めた世界メンタルヘルスデーです。今年度はメンタルヘルスを大きく取り上げていますので、世界中のクラブを訪れる際に一番よく聞かれる質問にここで答えましょう。「どうすればうちのクラブもメンタルヘルスに取り組めるでしょうか?」という質問です。

すでに行動を起こしているロータリー会員の素晴らしい前例をいくつか紹介します。フィリピンでは、基本的な健康診断と健康的な生活についてのコーチングを推進するために、Tiaong-Hiyasロータリークラブが地域社会の女性向けに12週間の健康チャレンジを開催しました。

チャレンジ終了時、参加者たちの間には特別な絆が築かれていて、Ilaw ng Tahanan(「家庭を明るくする人」)のロータリー地域社会共同隊を結成することを決めていました。その目的は、より多くの母親を健康教育とウェルネスサポートに関与させること、さらには青少年サービス、十代の妊娠予防、健康を害する薬物の使用者を支援することです。発足からほぼ1年後の今、女性たちが仲間同士でサポートしあえる独自の保健センターを開設する準備をしています。

もう一つの好例がコロラド州のクラブです。2021年秋、Highlands Ranchロータリークラブの会員が、小児メンタルヘルスに重点を置いたクラブ(Rotary Club of Colorado Endowed Fellowship for Pediatric Mental Health)を設立しました。この新クラブのおかげで、コロラド小児病院は児童・思春期専門の精神科医の募集と研修の能力が強化され、その病院グループは人員の募集枠を増やすことができます。これにより、より多くの子どもたちがメンタルヘルスケアを受けることができるようになり、医療従事者の不足が減少します。

設立以来新しい支援者を集めてきた同クラブは、今では恒久基金50万ドルという十分な資金を得ています。この基金による投資収入は、小児病院のフェロー(心理学者または精神科医)の支援に充てられます。2024年春からは1年か2年ごとに新しいフェローが指名されることとなります。ゆくゆくは、この基金により育成された専門家たちがメンタルヘルスケアを支える一大勢力となり、コロラド州の全64郡と、さらには近隣の州の子どもたちにメンタルヘルスケアを提供していくことでしょう。

私は10月10日にFacebookライブイベントを主催します。ここでは世界メンタルヘルスデーを記念して、メンタルヘルスへの着手の仕方を模索します。それに先だって、どのロータリー会員も変化をもたらせる方法の一つここでお伝えしましょう。今このときも、所属するクラブやこれまで参加したプロジェクト、ロータリー親睦活動グループ、またはロータリー行動グループなどに、皆さんのちょっとした助力を必要としている人がいます。ロータリーでは地球規模の交流というありがたい体験ができますが、それはつまりお互いを助けあうことも意味します。

人びとを結びつける人間関係の発見は、私たちがロータリーでの活動で日常的に行っていることです。それはロータリーが常に目指してきたことであり、お互いに助けあって幸せな人生を築くことで、さらに発展させていくのです。

ただ「お元気ですか」と声をかけるのではなく、「本当に元気なのかどうか」を尋ねる方法を学ぶ必要があります。そうすることで、ロータリーは今後も引き続き世界に希望を生み出すことができるのです。

